

# モテる雄は冬に頑張る！？



## ミソサザイの雄の非繁殖期のなわばりが繁殖成功に与える影響の解明



京都大学動物行動学研究室 修士課程2年 惣田彩可

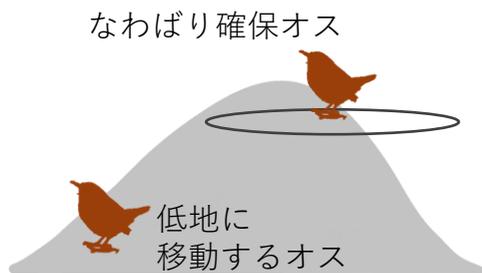
### はじめに

ミソサザイは繁殖期には山地の溪流沿いで繁殖します。また、冬季には低地へ移動してくると一般的には考えられています。

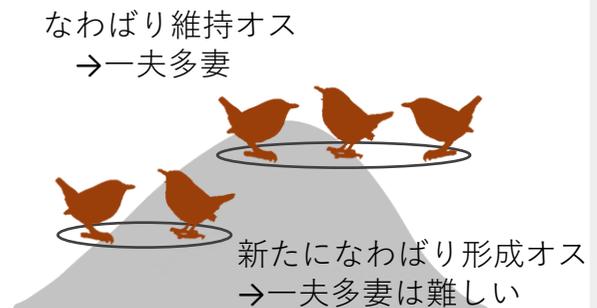
しかし、私はミソサザイの研究をする中で、冬季にも山地の溪流沿いになわばりをもつ個体がいることを発見しました。モズの高鳴きのように、鳴き声によるディスプレイも観察されました。

この発見から、冬季には雌や若い雄は低地へ移動する一方で、山地でなわばりを維持し続ける雄がいるのではないかと考えました。

### 冬季



### 繁殖期



冬季にもなわばりを維持し続ける雄がいるのはなぜでしょうか？

私は、繁殖期になわばりを獲得するのに有利になるためだと予想しました。ミソサザイは一夫多妻制であるため、より良いなわばりをもつ雄はより多くの雌とつがいになることができます。

ミソサザイの雄には繁殖期にモテるために冬季にもなわばりを維持する個体がいる？

## 目的

「冬季になわばりを維持していたミソサザイの雄は、繁殖期により多くの雌とつがいになる」という仮説の検証

## 調査内容

調査地：芦生研究林（京都府）

### 1. 冬季のなわばりの調査

- ミソサザイを捕獲し、標識する。
- 標識した個体を追跡し、どこになわばりを形成しているか記録する。

### 2. 繁殖期の繁殖状況の調査

- 冬季になわばりをもっていた個体が、繁殖期まで同じなわばりを維持しているか調べる。
- 繁殖期に新たになわばりをつくった個体を捕獲し、標識する。
- 冬季からなわばりをもっていた個体ともっていなかった個体で繁殖の成功度（つくった巣の数、つがいになった雌の数、産卵数、巣立ち雛数など）に差があるか調べる。

## 期待される成果

これまでに“モテる雄”の条件として研究されてきたのは、派手な飾り羽、さえずり、なわばりや巣作りなどでした。これらは主に、雄が繁殖期に示す形質や行動です。

本研究は、**雄の非繁殖期の行動に着目した前例の少ない研究**です。本研究の結果から、**様々な種について繁殖期だけではなく、非繁殖期の生態についても調査が進むことが期待されます。**

## ご支援の用途

調査地までのレンタカー代、ガソリン代、滞在費、調査機材の購入費などに充てさせていただきます。

ご支援よろしく申し上げます。